国労盛岡
発行所　国鉄労働組合 盛岡地方本部
発行者　齋藤庄司
編集者　中堤聡司
TEL 019-622-5021
メールアドレス nrumori@poem.ocn.ne.jp
2008.11.10
第1403号

大会特集号

第64回 定期地方大会

4者・4団体を軸に政治解決を

「組織拡大・労働条件改善に全力」

地方本部は、第六四回定期地方大会を一〇月二七日（月）に岩手労働福祉会館で関係者約一〇〇人参加の中で開催した。

経過・方針で一一人の代議員（特別代議員含む）が発言し、職場の労働条件、組織強化・拡大、一括和解後の昇進・昇格試験をはじめとする差別の是正、新幹線青森開業、JR採用差別問題などが中心に議論された。そして、向かう一年間、①JR採用差別問題は、早期解決に向けた四者・四団体を軸に政治解決を目指す本部方針の下に全力をあげる②一括和解の確認事項履行を求め公正・公平で差別のない明るい職場を目指し闘いを進め、組織拡大と結合していく③安全・安定輸送めざし仕事総点検運動に取り組む―ことなどを決定した。

なお、予想される第四五回衆議院総選挙では、社会民主党の推薦候補、比例代表での社会民主党議席の確保と野党勝利にむけた政治闘争の強化も確認した。

大会には約100人が参加した

田崎・佐々木氏の議長団で進行

大会は、九時三〇分に阿部副委員長の開会挨拶で始まり、代議員四六人全員の出席を確認し大会の成立を宣言。議長に田崎秋弘代議員（青森運輸区分会）、副議長に佐々木睦美代議員（北上施設分会）を選出し田崎議長の就任挨拶を受け議事に入った。

最初に齋藤委員長が地方本部を代表し挨拶（要旨別掲）。続いて、来内平和環境岩手県労組センター議長をはじめ多くの来賓（別掲）の方々から貴重な激励と支援・連帯の挨拶を戴いた。

その後、中堤執行委員が大会へのメッセージの紹介と議事日程を説明。菊池執行委員が大会期日の延期承認を提案、承認され、選挙管理委員会の設置を確認、佐々木書記長から協約協定の締結が提案され承認。経過と二〇〇八年度の運動方針（案）を書記長が提案、畠山孝選管長（北上施設分会）が地方委員の告示を報告、小林副委員長から二〇〇七年度の決算報告と高橋亮一会計監査員の監査報告と行われ、決算を承認。会館、相互援護会、互助会の事業報告が三浦職員からあり、組織検討委員会の報告と承認と進み昼食休憩に入った。

昼食休憩後、経過と方針討論に入り、一一人の代議員（特別代議員含む）が職場実態、組織・強化拡大、和解後における職場実態と差別の是正問題、新幹線青森駅開業問題など発言。執行部答弁と佐々木書記長が集約答弁（要旨裏面）を行い、拍手の中、方針が原案通り確立された。

その後、二〇〇八年度の予算（案）を小林副委員長が提案し承認され、組織検討委員会の設置を確認し、スト権一票投票に入り、四六人全員の賛成でストを確立した。

続いて、畠山選管長から地方委員が定数どおりの立候補であり、無投票での選出（裏面掲載）が報告され、機関紙コンクールの表面掲載の表彰式を行った。

大会も大詰めを向かえ、小野寺婦人部長が大会宣言を読み上げ提案・承認され、議長団の労をねぎらい齋藤委員長の団結ガンバローで大会を終わった。

来賓・メッセージ

〈来賓〉

来内広幸平和環境岩手県労働組合センター議長、伊沢昌弘社会民主党岩手県連合幹事長、柴谷正孝岩手県交運労協議長、小野寺正志東北労働金庫岩手県本部長、小原久佳全労済岩手県本部事業推進部長、高橋政利ハピネス共済会総務部長、三浦敬全国交運共済東日本事業本部東北支所副本部長、髙橋伸二国労本部委員長、伊藤秀樹国労東日本本部委員長、国労地本議員団（久保孝喜岩手県議会議員、木村幸弘岩手県議会議員、阿部一男花巻市議会議員、星敦子北上市議会議員、三浦啓一元北上市議会議員、奈良岡克也青森県議会議員、齋藤憲雄青森市議会議員、全農林東北地方本部岩手県事務所、全自交労連岩手地方本部、東北労働金庫労働組合岩手県支部、全済労労働組合岩手支部、山崎道夫矢巾町議会議員、国労東北協議会、国労秋田地本、国労仙台地本、国労新潟地本、国労高崎地本、国労水戸地本、国労千葉地本、国労東京地本、国労長野地本。

◇

〈メッセージ〉

日本共産党岩手県委員会、自治労岩手県本部、岩手県教職員組合、岩手県高等学校教職員組合、岩手県交通労働組合、全農林東北地方本部岩手県事務所、全自交労連岩手地方本部、国労盛岡地方連合会会長、阿部むつ子地本家族会会長。

齋藤委員長あいさつ（要旨）

地方執行委員会を代表し挨拶を申し上げます。

JR採用差別問題は、東京高裁南裁判長の「ソフトランディングできないか、裁判外での話し合い」の提案、それを受けての「誠心誠意解決に向けてやるべきと思う」との当時の冬柴国土交通大臣の発言で新たな局面を作り出している。この機を逃すことなく「百万一心」の決意で解決に向け運動を展開する。

東日本及び貨物会社との一括和解、国労の将来を見据えたときに大きな前進。試験や職場における不公平感はまだまだあるが、和解の趣旨を現場末端まで行き届かせることを会社に強く求め、公平・公正な人事、健全かつ正常な労使関係の確立に努力する。

効率化・合理化により輸送障害、パートナー会社での死傷事故が多発している。お客様、社員の安全に関わる問題であり、会社が掲げる「究極の安全」を目指すため、仕事・安全総点検運動を取り組み会社に問題点を訴え、解決を図っていく。

組織拡大、今年幾つかの職場で新規採用者の加入行動に取り組んでいただいた。今後の行動に大きな自信となったと確信している。また、九月の組織拡大交流集会に長野の田中久美さん、東京の阿部浩樹さんを招いて交流した。今後の活動に活かしてほしい。

解散総選挙、国民が安心して暮らせる社会を確立するため、不採用差別の早期政治解決にむけ、推薦候補の必勝はもとより、与野党逆転の歴史的選挙にするため組合員・家族の奮闘をお願いしたい。

最後に、新幹線青森開業と並行在来線の問題、新幹線の延伸で盛岡・青森間の二〇三九キロが第三セクター運営となる。膨大な設備費や維持・管理費が地方自治体と利用者にのしかかってくる。本部などと連携をとり公共交通を守る運動を構築していく。

方針討論

職場実態、組織強化・拡大 新幹線青森開業など議論

＝11人の代議員が発言＝

方針討論では、一一人が発言した。要旨は次の通り。

◇

◎遠堀勝義交渉委員（盛岡電気分会）

▽関連会社からエルダー社員ではなく、JRを退職して来てほしいと言われている人がいる。手当ての関係と思うが。

熊谷泰幸代議員（気仙沼地域分会）

電気職場の他にあるのか。

◎熊谷泰幸代議員（気仙沼地域分会）

▽平田ミイ子当選、現在は予想される衆議院選挙、菅野哲雄氏の取り組みを行っている。

▽南気仙沼駅の勤務は、旅行センター・窓口・渉外というぞくにいう回しになっている。分けるべきと思うがどうか。

照井幸男代議員（北上駅連合分会）

◎照井幸男代議員（北上駅連合分会）

▽採用差別事件は解決したとしても終わるものでない。解決後の運動・闘いが大切だ。

▽外注会社の事故死が続き、会社で非常事態宣言を出しているが、利潤追求の結果だ。安全の追求が大切だ。

▽機関紙活動二人でやっている。各分会の機関紙交流が大切だ。

▽エルダー社員の交流会などが必要との声がある。

〈次頁に続く〉

ていこう

米大統領選の投票が、一一月四日全米各州で行われ、即日開票の結果米国初のアフリカ系大統領が誕生した。イラクとアフガニスタンの二つの戦争を抱え、またアメリカ発の金融危機を招いたといえるブッシュ政権からの変革を求め、地滑り的な大勝とはいえ、白人優位社会で人種問題と四七歳という若さの壁をも、破られた今回の選挙結果であった▼九・一一同時テロ事件により始まったイラク戦争は、圧倒的軍事力に物を言わせアメリカに歯向かう者を潰そうとしたが、アフガニスタンに続き四千人以上の米兵とイラク国民が犠牲になり、未だに終結していない。ブッシュ政権が、超大国アメリカの力でテロを押え込もうとしたが、武力による征圧はいかに愚かであるかを、改めて世界中に知らしめた▼そんな中、日本政府はインド洋における給油活動が、国際貢献として欠かせないといい、今臨時国会で活動の延長を通そうと必死である。しかし、国際貢献で復興のため支援しているはずのアフガニスタンで、NPOの日本人がゲリラ（テロリスト）に浚われ、殺害される事件が起きている。真の国際貢献・復興支援が何かを、もう一度考えるべきであると思う▼国内を見ても、原油の高騰や食の安全・偽装問題、そして金融危機によるリストラなど、日本政府が早急に対策を打たなければならない問題が山積みである。しかし、現在の政府与党が国民の信頼を著しく損ねており「選挙より経済対策」を理由に衆議院の解散総選挙を延ばし続けるのではなく、民意を問う中で将来を見据え日本における変革を望みたい。（庄）

〈前頁より続く〉

◎那須正吉特別代議員
（運転協議会代表）

▽支部・地区協・分会代表者会議に職協代表も参加させてほしい。
▽外注化により技術力が低下している。
▽今年の新規採用者加入行動に、支社は時間外の組合活動というが抗議をしてほしい。
▽不採用問題は解決に向け新たな局面の今こそ取り組みの強化としてハンストやキャラバン行動を取り組むべきだ。

◎阿部善悦代議員
（一関運輸分会）

▽団交での経緯が現場に繋がっていない。話し合いを求めても拒否される。
▽盛岡のもし券センターに一関地区からも多くの組合員が配属されており通勤が大変な状況だ。

◎高森英明代議員
（青森駅連合分会）

▽石油の高騰で大変だ。寒冷地手当、通勤手当増を来春闘で扱ってほしい。

袴田昌宏代議員
（盛岡駅連合分会）

▽昇進・昇格試験、国労は一六人受験し二人の合格。まだまだ東労組との差がある。
▽今年の新規採用者への加入行動、第一歩の闘いとしたい。現在、復帰者に目途が付いている。加入に結び付けたい。

◎高橋清光代議員
（青森運転分会）

▽長期単身赴任者の解消が進んでいない。どういう状況になっているのか。
▽新幹線青森駅開業に伴って職場の中で将来展望が見えない。組合員に不安が増しエリア異動など個人対応も出ている。組織的対応が大切だ。
▽昇進・昇格試験、一三人が受験し合格は主任一人。指導職は厳しかった。指導職の合格に向けた取り組みの強化をお願いしたい。

◎袴田昌宏代議員
（盛岡駅連合分会）

▽八戸からもし券センターへの出向で三年。東労組とは、各種の会議出席、ボーナス、昇進・昇格試験などで差別は続いている。公平・公正には程遠い状況だ。
▽私たちの職場に多くの外部の見学者がくる。このような職場が多くなれば、労働者の職場がなくなる。歯止めが必要。

高橋清光代議員
（青森運転分会）

◎上山仁志特別代議員
（貨物協議会代表）

▽貨物団結キャンプの支援に感謝したい。今後も続ける。
▽貨物和解、明るい材料と思うが危惧もある。職場で我々がどう活かしていくかが大切。
▽我々の新規採用者への加入行動に対し、管理者が守ろうとの姿勢が見える。東日本本部の取り組む、管理者の非組合員化は是非実現してほしい。
▽新幹線青森駅開業に伴う基地の統廃合は、貨物への影響が大。組合員に不安がある。
▽手当ての闘い、旅・貨一体の闘いを今後も進めてほしい。

◎館川幸也代議員
（盛岡貨物分会）

▽貨物会社は、七年連続の黒字計上。しかし、手当ては上らず、人件費割合は三〇・一五パーセント、〇九春闘でベア獲得の闘いの強化が必要だ。
▽新賃金制度、会社の持ち出し増はなく、コストダウン、労働者の競争意識を煽るものだ。反対の闘いを。

◎佐々木政志代議員
（青森運転分会）

▽三月のダイヤ改正で東派出所が廃止。団交で色々議論したが国労一九人は、構内に九、出向一、エリア異動二で、残り五人が冬期で青森での仕事となっている。
▽新幹線青森駅開業、特定の組合介入がある限り国労差別はあると思う。我々の職場の中で取り組みが大切。それが国労の姿を見せることになる。

執行部・東日本本部中間答弁（要旨）

▽外注会社からエルダーではなく、退職してきてほしいということは電気関係以外からは聞いていない。調査する。
▽南気仙沼の旅行センター関係、支社には投げかけている。
▽エルダー組合員の交流会を考えるが、分会でも接点を持って欲しい。
▽職能別協議会代表の支部・地区協・分会代表者会議への参加は検討していく。
▽新規採用者に対する支社対応、労・労問題に会社が介入している。東日本本部でも申し入れをしていく。
▽ダイヤ改正の交渉の問題点、現場でも対応するよう支社に申入れていく。
▽石油高騰に伴う寒冷地手当て増額などは、東日本本部として本社に改善を申し入れる。
▽新規採用者を含めた組織拡大、諸会議の開催、交流会の取り組みを進めていく。
▽単身赴任、機関の統廃合で多くなっている。改善は今後も支社に求めていく。
▽新幹線青森開業を踏まえ、組合員へのアンケート調査などを行い、不安の解消や本人希望の実現を図りたい。
▽昇進・昇格試験、全体の合格人数は昨年並み、主任運転士の合格者が出た。各分会で諦めでなく、受験する取り組みを意思統一してほしい。
▽もし券センター問題は、余力での考え方だったが、今はそういう状況にない。どう改善を求めていくかが大切だ。
▽貨物の厳しい状況については承知している。今後も春闘時での交流などを進めていく。
▽和解後の公平・公正な職場を求め、中労委にも改善を求め幹旋申請している。改善に全力を上げていく。

採用差別事件の解決
組織拡大に全力を
＝佐々木書記長集約（要旨）＝

〈JR採用差別事件の早期解決を目指す闘い〉

大衆闘争や裁判対策・政治対策などの積み重ねのなかで、「話し合い解決」という新たな局面を作り出した。盛岡地本から一二三人が参加し、一二〇〇人を結集した「一〇・二四中央大集会」の成功は、この機に解決するために世論を高めた。引き続き大衆行動、要請行動、政治対策、自治体意見書採択等について全力をあげる。

〈一括和解以降における職場の闘いと、労働条件、安全・安定輸送確立の闘い〉

JR東日本・貨物会社の中労委一括和解により、「労務政策の転換」を切り開く展望ができた。また、東日本本部は中労委に「あっせん申請」を行い、正常な労使関係の確立を求めている。「安全・仕事総点検」運動のアンケート調査で「制度に関わる問題」「エルダー社員制度と退職年齢問題」等諸課題の改善を図る。JR貨物会社の一〇年連続ベアゼロを許さないために、旅客の組合員と一体の取り組みを進める。

〈組織強化・拡大の闘い〉

緊急かつ最重要課題、毎年多くの国労組合員が退職する現実がある。第七五回定期全国大会で「組織対策費の徴収」が決定された。取り組みを具体化するために、地区協・分会に対する指導、点検を強めながら、「新採対策会議」「組織拡大対策会議」等を開催する。一年間、地本・支部・地区協・分会が一体となり拡大運動に総力をあげよう。

〈公共交通を守る闘い〉

二〇一〇年東北新幹線青森延伸開業に伴い、八戸～青森間の東北本線の並行在来線はJRから経営分離される。「IGRいわて銀河鉄道」「青い森鉄道」は寝台列車の減便や新指令システム整備などで苦しい経営を強いられており、国の支援処置がなければ成り立たない。「恒久的支援処置の確立」を求め、青森支部・本部・関係地本・青森県対策会議などと連携し、地方交通線の維持・存続の取り組みを強める。

〈政治闘争強化の闘い〉

憲法改正に向けた「国民投票法」の成立から一年が経過した。ここ数年の政治状況を見た場合、憲法改悪の動きは予断を許さない。混迷する政治状況と深まる経済不安の中で、貧困と格差を是正し、平和と民主主義を守る取り組みが求められている。最後に、解散総選挙では採用差別事件の早期解決を実現するためにも、推薦候補者の必勝と反自民という立場で、野党前進のために、組織の総力を結集し奮闘しあうことを、第六四回定期大会の総意としたい。

大会スナップ

大会は田崎議長(左)と佐々木副議長(右)で進められた。

来賓の方々も連帯と激励

来内岩手県平和環境労組センター議長

柴谷岩手県交運労協議長

伊沢社民党岩手県連合幹事長

小野寺東北労働金庫岩手県本部長

髙橋本部委員長

伊藤東日本本部委員長

阿部地本家族会会長

共に闘いを進めよう

＝ 議員団も頑張ります ＝
左から三浦元北上市議、星・斉藤・奈良岡・阿部・木村・久保の各議員

三浦交運共済東北支所副本部長も事業の成果を報告

畠山選管長が地方委員を発表

会計監査報告の高橋監査員

大会宣言を読み上げる小野寺婦人部長

真剣に聞きいる参加者

スト権は全員賛成で確立

機関紙コンクールで最優秀賞表彰の気仙沼地域分会の熊谷代議員

最後は団結ガンバロー

「気仙沼」が最優秀賞
＝機関紙コンクール＝

大会で二〇〇七年度の地方本部機関紙コンクールの表彰式も行われた。応募作品は、「可動橋」（青森駅連合分会）、「伝言版」（盛岡駅連合分会）、「RenKetu」（盛岡貨物分会）、「国労北上地区協」（北上地区協）、「けんまい」（北上駅連合分会）、「関連ニュース」（一関運輸分会）、「気仙沼」（気仙沼地域分会）の七点。最優秀賞、優秀賞は次の通り。

◇

◎最優秀賞
「気仙沼」
気仙沼地域分会

◎優秀賞
「RenKetu」
盛岡貨物分会

=2008年度= 地方委員 15人を選出

二〇〇八年度の地方委員に次の一五人が選出された。

◇

〈盛岡支部〉10人
襞岩　哲彦（盛岡駅連合分会）
小野　信弥（盛岡運輸区分会）
佐々木克彦（盛岡運転分会）
山口　進（盛岡施設分会）
館川　幸也（盛岡貨物分会）
佐藤　弦悦（一戸地域分会）
中村　弘之（北上駅連合分会）
佐々木喜一（北上施設分会）
熊谷　泰幸（気仙沼地域分会）
留場　義継（宮古地域分会）
〈青森支部〉5人
田崎　秋弘（青森運輸区分会）
成田　芳隆（青森施設分会）
松尾　昭二（三沢地域分会）
前田　素行（八戸運輸分会）
加藤　寿（八戸貨物分会）